

CA Performance Center

Web サービス API ガイド

2.4



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複製することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、
(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルが参照している CA Technologies の製品は以下のとおりです。

- CA Performance Center
- CA Infrastructure Management
- CA Application Delivery Analysis
- UCMonitor
- CA Network Flow Analysis

CA への連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: CA Performance Center API の概要	7
CA Performance Center Web サービス	7
エンドポイントおよび XML スキーマ	8
REST Web サービス内の基本操作.....	9
API へのアクセス.....	11
第 2 章: 管理 Web サービス	13
管理 Web サービスについて.....	13
営業時間 Web サービス	14
営業時間 Web サービスの構文例	14
ダッシュボード Web サービス.....	17
ダッシュボード Web サービスの構文例.....	18
データ ソース Web サービス.....	20
基本的なデータソース パラメータ	20
データ ソースの削除.....	22
データ ソースの再同期.....	23
デバイス Web サービス	24
デバイスへのエイリアス名の設定例	25
インターフェース名エイリアスの設定	26
コンポーネント名エイリアスの設定	29
ドメイン Web サービス	30
ドメイン Web サービスの構文例	31
基本的な IP ドメイン パラメータ	33
グループ Web サービス	35
グループ Web サービスの構文例	35
サイト グループ管理用構文.....	39
役割 Web サービス	41
基本的な役割パラメータ	41
役割 Web サービスの構文例	42
役割の作成.....	45
ユーザ Web サービス	46
基本ユーザ アカウント パラメータ	46
ユーザ アカウント製品権限の設定	48
ユーザ Web サービスの構文例	49

ユーザアカウントの作成.....	52
テナント Web サービス	54
テナント Web サービスのパラメータ	55
テナント Web サービスの構文例	56
テナントの作成.....	57
第 3 章: サポート Web サービス	59
Consoleinfo Web サービス	59
Consoleinfo Web サービスの構文例	59
イベント Web サービス	60
詳細情報.....	61
用語集	63

第 1 章: CA Performance Center API の概要

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [CA Performance Center Web サービス \(P. 7\)](#)
- [エンドポイントおよび XML スキーマ \(P. 8\)](#)
- [REST Web サービス内の基本操作 \(P. 9\)](#)
- [API へのアクセス \(P. 11\)](#)

CA Performance Center Web サービス

CA Performance Center は、ユーザにプロビジョニング タスクと設定タスクを自動化できる API セットを提供します。最も頻繁に繰り返されるタスクや時間のかかるタスクは、Web サービスによりユーザに公開されます。

これらの API の一部は RESTful Web サービスから構成されます。REST (Representational State Transfer) は、ワールドワイドウェブ用ソフトウェア、またはクライアント/サーバ ネットワーク内の HTTP 要件に準拠するその他のアプリケーションを構築する方法です。REST モデルでは、あらかじめ決められた一連の操作を使用してリソース セットにアクセスできます。このモデルでは、広く導入されている HTTP 機能を活用しています。これらの機能はゲートウェイ デバイスなどの一般的なハードウェアでサポートされています。

CA Performance Center RESTful Web サービスは以下のタスクをプログラムで実行できます。

- ユーザ アカウントの作成および更新
- MSP カスタマ サイト（「テナント」）用コンテナの作成
- グループの作成および管理
- ダッシュボードのインポートおよびエクスポート
- データ ソースの管理
- SNMP プロファイルの作成、編集、および削除
- IP ドメイン定義の作成と、テナントへの関連付け
- すでにシステムに存在するカスタム ユーザ アカウント、役割、またはグループなど、すべての構成アイテムのリストを提供

追加の API を使用すると、カスタム データ ビューを作成し、カスタム データベース クエリを実行して正確なデータセットへアクセスし、新しいダッシュボードを構築できます。詳細については、「RIB API User Guide」を参照してください。また、SOAP API を使用すると、シングルサインオン認証コンポーネントの設定を変更できます。

エンドポイントおよび XML スキーマ

すべてのエンドポイントは、データの共通セットで動作します。データは、データを使用または生成するエンドポイントに応じて、さまざまなデータフォーマット（つまり、MIME タイプ）で表すことができます。XML スキーマでは、データおよび JSON などのサポートされる他のデータフォーマットについて説明します。

このガイドでは、CA Performance Center RESTful Web サービスのスクリプトを作成するために確認する必要がある、XML スキーマの基本条件およびパラメータについて説明します。データは、ネームスペースでグループ化できます。スキーマは、各ネームスペースのタイプおよびエレメントを記述します。タイプはデータの構造を定義し、エレメントはタイプのインスタンスとなります。たとえば、エレメントは通常、REST エンドポイントによって生成または使用されます。また、各エレメントの構造はそのタイプによって記述されます。

REST Web サービス内の基本操作

REST 指定はある程度の柔軟性を備えています。そのため REST Web サービスは、基本的な HTTP 構文を使って、さまざまなタスクを実行することができます。CA Performance Center のすべての REST Web サービスでは、HTTP リクエスト ヘッダにユーザおよびパスワード認可を埋め込む必要があります。CA Performance Center ユーザ インターフェースからログインするときに使用するものと同じ認証情報を使用できます。

この実装では、基本的な REST コマンドを以下のように使用します。

- GET - サーバデータベースにログインしたり、サーバデータベースから情報を取得します。ブラウザセッションのみを必要とします。
- POST - オブジェクトを作成します。通常、パラメータを提供するために XML 入力が必要です。
- PUT - 既存のオブジェクトを編集します。また場合によっては、オブジェクトの作成にも使われます。通常、パラメータを提供するために XML 入力を必要としません。
- DELETE - 既存のオブジェクトを削除します。

テナントの説明パラメータを更新する単純な PUT 操作の例を以下に示します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/tenants/tenantName/tenantName/tenantDescription  
/NewDescription
```

イタリック体の部分は、必要な値に置き換えてください。一部のパラメータは必須です。

tenantName

編集するテナントの名前。

tenantDescription

このテナントを識別する新しい説明。

テナント Web サービスを使用してテナント ID および名前のリストを返す単純な GET 操作の例を以下に示します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/tenants/idNames
```

以下の XML が返されます。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<idNames>
  <idName value="tenantAccountId" />
  <idName value="tenantItemId" />
  <idName value="tenantName" />
</idNames>
```

HTTP リクエストでは、成功した場合も必ずレスポンスおよびステータスコードが返されます。レスポンステキストは、予測していた結果または問題を示すエラーメッセージのいずれかです。ステータスコードは、成功レスポンスの場合の 200、または数値のエラーインジケータです。以下の HTTP レスポンスコード範囲が使用されます。

- 200 - コマンドステータスは「OK」です。
- 400 - ユーザエラーが発生しました。この範囲のエラーは、入力テキストの問題（400）またはユーザ認証情報の問題（403）を示し、通常は容易に修正できます。
- 500 - システムエラーが発生しました。この範囲のエラーは通常、システム障害を示します。そのようなエラーを解決するには、CA テクニカルサポートへの問い合わせが必要な場合があります。

HTTP ステータスコードの詳細については、以下の IETF Web サイトを参照してください。

<http://www.ietf.org/rfc/rfc2616.txt>

API へのアクセス

API コンポーネントは、CA Performance Center ソフトウェアと共に自動的にインストールされます。Web ブラウザから Web サービスを実行できます。起動ページには、利用可能な Web サービス、エンドポイントアドレス、WADL および WSDL URI のリストが表示されます。

以下の URL 構文を使用して、起動ページにアクセスします。

```
http://CA Performance Center server IP address:8181/pc/center
```

テストユーティリティを使用して Web サービス コールを実行する場合、デバッグに役立つフィードバックを受信します。たとえば、オープンソースの soapUI テストユーティリティを使用して、スクリプトをテストできます。テストユーティリティを使用すると時間の節約にもなります。すべてのサービス コールの自動認証用サービス エンドポイントとして、ユーザ名とパスワードのパラメータを指定できます。

そのようなユーティリティでは、テスト対象のサービスを記述する WSDL ファイル (Web サービス記述言語に準拠した XML ファイル) が必要です。REST 形式では、より単純な WADL (Web アプリケーション記述言語) が代わりに使用されます。CA Performance Center API 起動ページから、テストに使用できる各 Web サービスの WADL ファイルにアクセスできます。WSDL へのリンクは SOAP Web サービスで提供されます。

第 2 章: 管理 Web サービス

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [管理 Web サービスについて \(P. 13\)](#)
- [営業時間 Web サービス \(P. 14\)](#)
- [ダッシュボード Web サービス \(P. 17\)](#)
- [データ ソース Web サービス \(P. 20\)](#)
- [デバイス Web サービス \(P. 24\)](#)
- [ドメイン Web サービス \(P. 30\)](#)
- [グループ Web サービス \(P. 35\)](#)
- [役割 Web サービス \(P. 41\)](#)
- [ユーザ Web サービス \(P. 46\)](#)
- [テナント Web サービス \(P. 54\)](#)

管理 Web サービスについて

API は、共通の管理タスクを実行できる Web サービスを提供します。たとえば、テナントおよび IP ドメイン定義、SNMP プロファイル、ユーザアカウント、およびカスタムメニューを作成できます。

管理タスクの自動化に必要な Web サービスを使用するためのワークフローについて記述したユース ケースは、CA Performance Center ドキュメントのマニュアル選択メニューを確認してください。「ユース ケース」というタイトルのセクションには、Web サービスの展開を計画している管理者向けの複数のユース ケースが含まれています。

営業時間 Web サービス

CA Performance Center API は、共通の管理タスクを実行できる Web サービスを提供します。

営業時間定義を作成および管理するには、営業時間 RESTful Web サービスを使用します。ビューをフィルタしたり重大なデータを強調表示するには、営業時間定義を使用します。CA Performance Center 管理者は、営業時間定義のセットを作成してレポートの機能を拡張できます。また、営業時間 Web サービスを使用して、複数の営業時間定義を追加および削除したり、サイトグループに営業時間定義を割り当てたりすることができます。

営業時間 Web サービスの使用に役立つユースケース ドキュメントについては、CA Performance Center ドキュメントのマニュアル選択メニューを参照してください。

営業時間 Web サービスの構文例

営業時間エンドポイントに対して使用可能なすべての操作および必須パラメータについては、以下の URL を参照してください。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/rest/businesshours/documentation
```

営業時間 Web サービスのパラメータについては、以下の URL を参照してください。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/businesshours
```

root/businesshours/ への GET 操作を実行すると、現在ログインしている管理者のテナントに対するすべての営業時間定義のリストが返されます。

- グローバル管理者としてログインした場合、デフォルトテナントのみ用の営業時間のリストだけが表示されます。
- テナント管理者としてログインした場合、テナント用の営業時間定義のリストが表示されます。

使用可能な営業時間 Web サービス メソッド

ログインユーザに関連付けられている営業時間のすべてのリストを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/businesshours
```

注: グローバル管理者には、デフォルトテナントの範囲内の営業時間定義だけが表示されます。テナント管理者には、そのテナント内の定義のみが表示されます。

指定されたテナント ID に関連付けられている営業時間のすべてのリストを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/businesshours/tenantId/tenantId
```

注: ユーザは、グローバル管理者または指定されたテナントのテナント管理者のいずれかとしてログインする必要があります。

指定された識別子（内部に割り当てられた営業時間 ID）に関連付けられた営業時間定義を取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/businesshours/id/id
```

営業時間の定義の削除

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/businesshours/id/id
```

注: DELETE メソッドを実行しているユーザは、グローバル管理者または営業時間 ID を所有するテナントのテナント管理者のいずれかとしてログインする必要があります。

営業時間 Web サービスに対して使用可能な PUT メソッド

指定されたサイトグループと営業時間定義を関連付けます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/businesshours/assign/businesshour  
/businessHour/site/siteGroupId
```

指定されたサイトグループに現在割り当てられている営業時間定義の関連付けを削除します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc
/center/webservice/businesshours/unassign/businesshour
/site/siteGroupId
```

タイムゾーンの関連付け

タイムゾーンでスラッシュ (/) 文字に関連するエラーを回避するため、Web サービス コールは、整数 ID (タイムゾーン テーブルの ID 列) または言語に依存しない ID (タイムゾーン テーブルの TimeZoneID 列) のいずれかを受け付けます。言語に依存しない ID を使用する場合は、単に任意のスラッシュを %2f に置換します。

例: siteId が 118 のサイトグループで、タイムゾーンをアメリカのデンバー (タイムゾーン ID 93) に設定する場合、以下の URL のどちらかを使って PUT 操作を実行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc
/center/webservice/businesshours/assign/timezone/93/site/118
```

または

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc
/center/webservice/businesshours/assign/timezone/America%2fDenver
/site/118
```

すべての使用可能なタイムゾーンのリストを取得するには、以下の構文を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc
/center/webservice/consoleinfo/allTimezones/cultureID
```

返された結果には、指定されたカルチャ ID と、言語に依存しないタイムゾーン ID に基づいて、タイムゾーンのローカライズされた名前が含まれます。

営業時間を展開するにはサイトグループが必要です。サイトグループ構文の詳細については、「[サイトグループ管理用構文 \(P. 39\)](#)」を参照してください。

ダッシュボード Web サービス

CA Performance Center API は、ダッシュボード管理タスクを実行できる Web サービスを提供します。

データビューを表示するダッシュボードページを作成および管理するには、ダッシュボード RESTful Web サービスを使用します。ダッシュボードを新規作成できます。この Web サービスを使用して、ダッシュボードをインポートおよびエクスポートすることもできます。インポート機能を使用すると、1回構築したダッシュボードを別の CA Performance Center サーバ上、または追加のテナント内に展開することができ、手動でダッシュボードを作成し直す必要がありません。

また、インポート操作の結果をテストするために Web サービスを使用できます。自動テストを実行するとカスタム ページファイルがインポートされ、メインの CA Performance Center データベースにそのファイルが存在することが確認されます。

ダッシュボード Web サービスの構文例

ダッシュボード Web サービスのパラメータを確認するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/rest/dashboards/documentation
```

GET メソッド(エクスポート)

GET を実行すると、CA Performance Center の別のインスタンスへのインポートに適した XML ファイルにダッシュボードがエクスポートされます。

ダッシュボードをエクスポートするには、内部的に割り当てられたページ ID が必要です。ID の検索には製品のユーザ インターフェースを使用します。手順は以下のとおりです。

1. エクスポートするダッシュボードに移動します。
2. ブラウザ ウィンドウで、URL に含まれるページ ID を探します。次に例を示します。

```
http://CA Performance Center Server  
Hostname:8181/pc/desktop/page?pg=2000040
```

ページ ID は 2000040 です。

3. REST クライアントで、URL を以下のように設定します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
address:8181/pc/center/webservice/dashboards/pageId
```

4. GET 操作を実行します。

エラー メッセージまたは成功メッセージがレスポンスに表示されます。

POST メソッド(インポート)

XML ファイルからダッシュボードをインポートできます。

1. URL を以下のように設定します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
Address:8181/pc/center/webservice/dashboards/import
```

2. エクスポートしたダッシュボードを表す XML ファイルを参照して選択するか、XML ファイルのエクスポート済みテキストを [Body] フィールドに貼り付けます。

MenuItem および DashboardTitle が一意かどうかのチェックが実行されます。

3. ファイルの最上部にある以下のプロパティを確認します。

```
<menuItem>Custom Dashboards</menuItem>  
<dashboardTitle>MyCustomDashboard_Example</dashboardTitle>
```

これらのプロパティはテナントごとに一意であることが必要です。

4. POST 操作を実行します。

エラーメッセージまたは成功メッセージがレスポンスに表示されません。

注: インポートされるダッシュボードには、Web サービスによってページ ID が割り当てられます。

実際にインポートする前に、ダッシュボードのインポートをテストします。インポート操作を実行しなくても結果を表示できます。

以下のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/dashboards/test/
```

結果には、インポートされるダッシュボードのページ ID が含まれます。

PUT メソッド(ダッシュボードの更新)

ページ ID に基づいてダッシュボードを更新できます。ダッシュボードを変更するには XML を編集します。

1. URL を以下のように設定します。

```
http://hostname:8181/pc/center/webservice/dashboards/pageId
```

2. ダッシュボードを表す XML ファイルを [Body] フィールドに貼り付けます。
3. PUT 操作を実行します。

エラーメッセージまたは成功メッセージがレスポンスに表示されません。

データソース Web サービス

この API は、現在の登録済みのデータソースの一覧の取得、新しいデータソースの追加（レジスタ）、使用する認証方式などのデータソース設定の変更、データソースの削除（登録解除）を可能にするデータソース Web サービスを提供します。データソースの同期やデータソースログファイルの管理もできます。

データソース Web サービスで使用可能な操作およびパラメータを確認するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/rest/datasources/documentation
```

基本的なデータソース パラメータ

以下のデータソース設定の現在値は GET コマンドで取得できます。

id

データソースに対して内部的に割り当てられた識別子です。

enabled

データソースが有効かどうかを示します。

デフォルト：true

name

データソースのホスト名です。

authtype

このデータソースに使用する認証のタイプです。以下のいずれかです。

NONE

BASIC

type

データソースタイプです。以下のいずれかです。

REPORTER: CA Network Flow Analysis（旧称 CA ReporterAnalyzer）

SUPER_AGENT: CA Application Delivery Analysis（旧称 CA SuperAgent）

E_HEALTH: CA eHealth

VOIP_MONITOR: CA Unified Communications Monitor

ANOMALY_DETECTOR: CA Anomaly Detector

ALLOCATE : NetQoS Allocate (CA Performance Center ではサポートされません)

F5 : F5 BIG-IP ロード バランサ (CA Performance Center ではサポートされません)

EVENT_MANAGER: CA Event Manager

PATH_LATENCY : CA Trade Monitor (CA Performance Center ではサポートされません)

TRADE_MONITOR : CA Trade Monitor (CA Performance Center ではサポートされません)

NETQOS_API : Microsoft Excel 用の NetQoS レポート ティング API (CA Performance Center ではサポートされません)

NEXUS : Cisco Wide-Area Application Services (WAAS) データ ソース (CA Performance Center ではサポートされません)

SPECTRUM_IM : SPECTRUM

APM : CA Application Performance Management

DATA_AGGREGATOR : CA Infrastructure Management Data Aggregator

CATALYST_CONNECTOR : CA Performance Center 用の CA Catalyst Connector

SERVICE_OPERATIONS_INSIGHT : CA Service Operations Insight

RESERVED_CUSTOMER_N : 未指定のカスタム使用のための予約済み enum

consoleSameAsDataSource

データ ソース Web コンソール アドレスがホスト名と同じかどうかを示します。ネットワーク アドレス変換が展開される場合に、このパラメータを使用します。

デフォルト : true

consoleAddress

データ ソース コンソールの IP アドレスです。CA Performance Center がデータ ソースにアクセスするアドレスです。

データソースの削除

通常、CA Performance Center Console の [データソースの管理] ページでデータソースを削除することでデータソースを登録解除できます。ただし、状況によっては、登録解除操作を完了できません。たとえば、データソースサーバがオフラインまたは動作不能の状態になっている場合があります。そのような場合、Web サービスを利用し、後で別の CA Performance Center インスタンスに登録できるようにデータソースを削除します。

データソース ID を取得するには、以下の URL に対して GET を発行します。

```
CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/datasources
```

返される XML には、CA Performance Center に登録されているすべてのデータソースおよびそれらのプロパティのリストが含まれます。

次の手順に従ってください:

1. REST クライアント内に CA Performance Center RESTful Web サービス API 用の URL を入力します。以下の形式を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/datasources/idName/idValue
```

注: データソース ID は、上記の GET 操作を実行して検索できます。

2. 「HTTP」メソッドに DELETE を選択します。
3. CA Performance Center に対して管理者アクセス権があるユーザアカウント用の有効なユーザ名およびパスワードを提供します。
4. Body 設定内の「Body Content-type」として「application/xml」を選択します。
5. メソッドを実行します。

データソースの再同期

データソースデータベースを CA Performance Center と再同期するには、データソース Web サービスを使用します。

構文は以下の URL を参照してください。

```
CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/datasources/resyncDataSources
```

次の手順に従ってください:

1. 以下の URL を REST クライアントに入力します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/datasources/resyncDataSources
```
2. 「HTTP」メソッドに PUT を選択します。
3. CA Performance Center へのグローバル管理者アクセス権を持つユーザーアカウント用の有効なユーザー名およびパスワードを指定します。
4. Body 設定内の「Body Content-type」として「application/xml」を選択します。
5. メソッドを実行します。

返される XML には、最後の同期リクエストがいつ完了したかを示すタイムスタンプが含まれます。この値は、requestedOn パラメータを受け取る「wait for resync」メソッドへ渡すことができます。

デバイス Web サービス

この API は、現在テナントに属しているデバイスのリストを取得できるデバイス Web サービスを提供します。管理対象アイテムのインベントリに含まれるデバイス（ルータまたはスイッチ）のインターフェースのリストも取得できます。

デバイスはすべてテナントと関連付けられます。マルチテナンシーを展開していない場合、デバイスはデフォルトテナントと関連付けられます。テナントと関連付けられているデバイスのリストを取得するには、`root /devices/` に対して `getlist` メソッドを実行します。

デバイス Web サービスのパラメータを確認するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/devices
```

サポートされる操作のリストを参照するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/rest/devices/documentation
```

使用可能な GET メソッド

get list

ログインユーザのテナントに属するデバイスのリストを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/devices
```

get interfaces

指定されたデバイスに属するすべてのインターフェースのリストを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/devices/idName/idValue/interfaces
```

以下の URL を使用すると、内部的に割り当てられた識別子のリストを取得でき、他のメソッドでこれを使用してデバイスを識別できます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/devices/idNames
```

または、以下のようにすると、テナントおよびデバイス サブタイプによってフィルタされたリストを取得できます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/devices/subtype/tenant/tenantIdName/tenantIdValue
```

サブタイプはデバイスをさらに詳しく説明するものです。たとえば、サブタイプが **server**、**switch** および **router** の場合はデバイスが識別されますが、インターフェースには「**physical**」または「**virtual**」をサブタイプとして設定できます。

注: グループ Web サービスで以下の URL に対して GET を発行すると、サブタイプを含むグループ メンバのリストが返されます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/groups/idName/idValue/items
```

デバイスへのエイリアス名の設定例

単一の監視対象デバイスにエイリアス名を設定することができます。エイリアス名は、デバイスのインベントリ リストとインターフェースのインベントリ リストに表示されます。

注: REST Web サービスを使用して設定されるエイリアスは、CSV ファイルをインポートして設定できるエイリアスよりも優先されます。CSV ファイルのインポートの詳細については、「*CA Performance Center 管理者ガイド*」を参照してください。

単一の監視対象デバイスにエイリアス名を設定するには、以下の URL への PUT を実行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/  
webservice/devices/deviceItemId/device_id/aliasName/alias_name  
device_id
```

エイリアス名を設定する監視対象デバイスのデバイス アイテム ID 番号です。

alias_name

監視対象デバイスのエイリアス名です。

例

デバイス アイテム ID が 119 のデバイスに「Alias name for 96.24」をエイリアス名として設定するには、以下の URL に対して PUT を実行します。

```
http://My_Server_Name:8181/pc/center/webservice/devices/  
deviceId/119/aliasName/Alias name for 96.24
```

注: 複数のデバイス アイテムにエイリアスを設定するには、`update_alias_name.sh` スクリプトを使用します。CSV ファイルのインポートの詳細については、「CA Performance Center 管理者ガイド」を参照してください。

インターフェース名エイリアスの設定

管理者は、インターフェース コンポーネント名のエイリアスをデバイス アイテムごとに設定できます。インターフェース エイリアスは、CA Performance Center 内の関連付けられたインターフェース コンポーネントに適用される管理者設定名です。ユーザのダッシュボードおよびビューには、管理者が割り当てた役割権限に応じてインターフェース エイリアスが表示されます。

注: REST Web サービスを使用して設定されるエイリアスは、CSV ファイルをインポートして設定できるエイリアスよりも優先されます。CSV ファイルのインポートの詳細については、「CA Performance Center 管理者ガイド」を参照してください。

構文は以下の URL を参照してください。

http://CA Performance Center Server IP
Address:8181/pc/center/webservice/devices

次の手順に従ってください:

1. どのインターフェースにエイリアスを設定するかを決めます。
 - a. デバイスアイテム上のすべてのインターフェースのリストを返すには、REST クライアントに以下の URL を入力します。

http://CA Performance Center Server IP
Address:8181/pc/center/webservice/devices/deviceItemId/device_id/interfaces

device_id

インターフェース コンポーネントが関連付けられている監視対象デバイスのデバイス アイテム ID 番号です。

- b. 「HTTP」メソッドに GET を選択します。
 - c. どのインターフェースにエイリアスを設定するかを決めます。
2. 以下の URL のいずれかを REST クライアントに入力します。
 - *http://CA Performance Center Server IP*
Address:8181/pc/center/webservice/devices/deviceItemId/device_id/setInterfaceNameAlias
 - *http://CA Performance Center Server IP*
Address:8181/pc/center/webservice/devices/domainItemId/domain_id/device_IP/setInterfaceNameAlias

domain_id

インターフェース コンポーネントが関連付けられているドメインのドメイン ID 番号です。

3. 「HTTP」メソッドに PUT を選択します。

4. インターフェース名エイリアスを設定するには、[HTTP Request] ペインの [Body] タブに以下の情報を入力します。

```
<interfaces>
  <interface>
    <itemId>interface_item_id</itemId>
    <nameAlias>alias_for_interface</nameAlias>
  </interface>
  ...
</interfaces>
```

例

2つのインターフェースにインターフェース名エイリアスとして「Et0 - alias」および「Se0 - alias」を設定するには、[HTTP Request] ペインの [Body] タブに以下の情報を入力します。

```
<interfaces>
  <interface>
    <itemId>164</itemId>
    <nameAlias>Et0 - alias</nameAlias>
  </interface>
  <interface>
    <itemId>165</itemId>
    <nameAlias>Se0 - alias</nameAlias>
  </interface>
</interfaces>
```

注: 複数のデバイスアイテムのインターフェースコンポーネント名のエイリアスを設定するには、`update_alias_name.sh` スクリプトを使用します。このスクリプトを使用したエイリアス名の設定についての詳細は、「CA Performance Center 管理者ガイド」を参照してください。

コンポーネント名エイリアスの設定

管理者は、コンポーネント名のエイリアスをデバイス アイテムごとに設定できます。コンポーネントエイリアスは、CA Performance Center 内の関連付けられたコンポーネントに適用される管理者設定名です。ユーザのダッシュボードおよびビューには、管理者が割り当てた役割権限に応じてコンポーネントエイリアスが表示されます。

注: REST Web サービスを使用して設定されるエイリアスは、CSV ファイルをインポートして設定できるエイリアスよりも優先されます。CSV ファイルのインポートの詳細については、「CA Performance Center 管理者ガイド」を参照してください。

構文は以下の URL を参照してください。

`http://CA Performance Center Server IP
Address:8181/pc/center/webservice/devices`

次の手順に従ってください:

1. どのコンポーネントにエイリアスを設定するかを決めます。
 - a. デバイスアイテム上のすべてのコンポーネントのリストを返すには、REST クライアントに以下のいずれかの URL を入力します。
 - `http://CA Performance Center Server IP
Address:8181/pc/center/webservice/devices/deviceItemId/device_id/components
device_id`

コンポーネントが関連付けられている監視対象デバイスのデバイスアイテム ID 番号です。
 - `http://CA Performance Center Server IP
Address:8181/pc/center/webservice/devices/domainItemId/domain_id/
device_IP/components
domain_id`

コンポーネントが関連付けられているドメインのドメイン ID 番号です。
 - a. 「HTTP」メソッドに GET を選択します。
 - b. デバイス上のすべてのコンポーネントが返されます。どのコンポーネントにエイリアスを設定するかを決めます。

2. 以下の URL のいずれかを REST クライアントに入力します。
 - `http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/devices/deviceItemId/device_id/setComponentNameAlias`
 - `http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/devices/domainItemId/domain_id/device_IP/setComponentNameAlias`
3. 「HTTP」メソッドに PUT を選択します。
4. コンポーネント名エイリアスを設定するには、[HTTP Request] ペインの [Body] タブに以下の情報を入力します。

```
<deviceComponents>
  <deviceComponent>
    <itemId>interface_item_id</itemId>
    <nameAlias> alias_for_component</nameAlias>
  </deviceComponent>
  ...
</deviceComponents>
```

注: 複数のデバイスアイテムのコンポーネント名のエイリアスを設定するには、`update_alias_name.sh` スクリプトを使用します。CSV ファイルのインポートの詳細については、「CA Performance Center 管理者ガイド」を参照してください。

ドメイン Web サービス

API ではドメイン Web サービスが提供され、IP ドメイン定義の現在のリストの取得、新しい IP ドメイン定義の作成、およびこれらの定義の変更が可能です。

管理対象アイテムは、データ収集にデータソースによって IP ドメインと関連付けられます。各登録済みのデータソースについて「管理者ガイド」を調べ、ドメインとアイテムを関連付けるための手順を決定します。

ドメイン Web サービスの構文例

ドメイン Web サービスのパラメータを確認するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
Address:8181/pc/center/webservice/domains
```

詳細については、「[基本的な IP ドメインパラメータ \(P. 33\)](#)」を参照してください。

サポートされる操作のリストを参照するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/rest/domains/documentation
```

使用可能な GET メソッド

get list

ログインユーザのテナントに属するすべての IP ドメインのリストを取得します。

root /domains/ に対して `getList` メソッドを実行すると、現在ログインしている管理者のテナントに属するすべての IP ドメイン ID のリストを取得できます。

- グローバル管理者としてログインしている場合は、デフォルトテナントに属するドメイン ID のリストのみが表示されます。
- テナント管理者としてログインしている場合は、自分のテナントに属するドメイン ID のリストが表示されます。

get

指定された IP ドメインに関する情報を取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
center/webservice/domains/idName/idValue
```

注: グローバル管理者には、デフォルトテナントに属する IP ドメインのみが表示されます。テナント管理者には、そのテナントに属する IP ドメインのみが表示されます。

get domain for group

指定されたグループに関連付けられている IP ドメインを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/domains/group/groupIdName/groupIdValue
```

詳細については、「[グループ Web サービスの構文例 \(P. 35\)](#)」を参照してください。

get id names

識別子のリストを取得します。他の Web サービス操作では、これを使用して IP ドメインを識別できます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/domains/idNames
```

get list

ログインユーザのテナントに属するすべての IP ドメインを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/domains
```

get list by tenant

指定されたテナント ID に関連付けられているすべての IP ドメインのリストを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/domains/tenantItemId/tenantId
```

get list with translation

ログインユーザのテナントに属するすべての IP ドメインを取得します。ローカライズされたテキストはすべて、指定した言語に翻訳されます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/domains/cultureId
```

使用可能な POST メソッド

create

IP ドメインを作成します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/domains
```

使用可能な PUT メソッド

update

指定された IP ドメインを更新します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/domains/idName/idValue
```

使用可能な DELETE メソッド

delete

IP ドメイン定義を削除します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/domains/{idName}/{idValue}
```

基本的な IP ドメイン パラメータ

以下のドメインパラメータの現在値は、GET コマンドで入手可能です。

cultureID

言語（ロケール）を指定します。以下のリストからの言語識別子を提供します。

- en - US（英語、米国）
- ja - JP（日本語）
- zh-CN（中国語（簡体字））
- fr-FR（フランス語、フランス）

dnsProxyAddress

DNS プロキシサーバの IP アドレスです。

domainItemID

テナント定義用の内部（データベース）識別子です。

groupItemID

ドメインに関連付けられるグループ定義の内部（データベース）識別子です。

itemDesc

所有企業の名前など、このドメイン ネームスペースに関する説明です。

itemName

ドメインを識別します。

TenantID

テナント定義用の内部（データベース）識別子です。このドメインと関連付けられたテナントを識別します。

primaryDNSAddress

このドメインのプライマリ名前サーバの IP アドレスです。

primaryDNSPort

プライマリ名前サーバが使用するポート番号です。

secondaryDNSAddress

(オプション) このドメインのセカンダリ名前サーバの IP アドレスです。

secondaryDNSPort

(オプション) セカンダリ名前サーバが使用するポート番号です。

isDNSProxyEnabled

プロキシアドレスがこの IP ドメインに対して有効かどうかを示します。

deviceAlias

管理対象アイテムに使用するエイリアスを表します。デバイスエイリアスは、CA Performance Center 内の関連付けられた管理対象アイテムに適用されるユーザ設定名です。

deviceAliasList

代替インターフェースの説明を含む CSV ファイルまたは TXT ファイルを識別します。カンマ区切り形式の値のリストです。デバイスの IP アドレス、インターフェース名、インターフェースの説明、および代替インターフェースの説明（エイリアス）のマッピングが含まれます。

interfaceDescriptionOverride

インターフェースで使用する代替の説明を表します。CA Performance Center にデフォルトで表示されるインターフェースの説明が上書きされます。

グループ Web サービス

CA Performance Center API は、共通のグループ管理タスクを実行できる Web サービスを提供します。

グループ RESTful Web サービスを使用し、監視対象アイテムのグループを作成し、管理します。新しいグループを作成し、それにアイテムを手動で追加できます。また、アイテム属性に基づいてグループを作成し、入力するルールを記述できます。

グループ Web サービスの使用に役立つユースケース ドキュメントについては、CA Performance Center ドキュメントのマニュアル選択メニューを参照してください。

グループ Web サービスの構文例

グループ Web サービスのパラメータを確認するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
Address:8181/pc/center/webservice/groups
```

サポートされる操作のリストを参照するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
Address:8181/pc/center/rest/groups/documentation
```

グループ ツリーの最上位レベルのグループの下にあるすべてのグループのリスト（デフォルトでは [All Groups]）を取得するには、`groupPath` パラメータまたは `groupItemId` パラメータが使用できます。

`groupPath` パラメータを使ってデフォルト グループを識別し、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
Address:8181/pc/center/webservice/groups/  
groupPath/All%20Groups
```

注: いくつかの REST クライアントを使用する場合、「All%20Groups」ではなく、「All Groups」構文が必要です。しかし、一般的に、空白のスペースは URL 内で有効ではありません。

デフォルト グループ（その `groupId` 値は 1）を識別するために `groupId` パラメータを使って、次のコールを呼び出します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
Address:8181/pc/center/webservice/  
groups/groupId/1
```

サブグループ構文

指定したグループの下のすべてのサブグループのリストを取得するには、次の 2 つのオプションがあります。

- `groupPath` パラメータを使用する。
- `groupId` パラメータを使用する。

`groupPath` パラメータを使ってグループを特定し、次のコールを発行すると、返された XML にそのサブグループが一覧表示されます。

```
http://CA Performance Center Server IP  
address:8181/pc/center/webservice/  
groups/groupPath/All%20Groups%2FInventory
```

`groupId` パラメータを使ってグループを特定し、次のコールを発行すると、返された XML にそのサブグループが一覧表示されます。

注: デフォルトの「Inventory」グループの `groupId` は 5 です。

```
http://CA Performance Center Server IP  
address:8181/pc/center/webservice/  
groups/groupId/5
```

返される XML には、そのグループに適用されるあらゆるグループ ルールの構文が含まれます。そのため、ユーザ インターフェイスで作成するさまざまなルールをテストし、生成された構文を調べることをお勧めします。

サイトグループ構文

POST コマンド内の以下の XML でサイトグループが作成されます（例の値は、新しいサイトグループに適した任意の値に置き換えてください）。

```
<GroupTree path="/All Groups">
  <Group name="East Coast USA" desc="This is a site group"
    inherit="true" type="site group" location="North America"
    bHourID="99990" timeZone="EST"/>
</GroupTree>
```

inherit

グループにグループメンバの子アイテムを含めるかどうかを指定します。たとえば、「inherit」属性を true に設定すると、デバイスがグループに追加された際に、デバイスインターフェースはグループメンバになります。

type

グループのタイプを指定します。以下の値を受け入れます。

- custom group : ユーザが作成したグループ。
- site group : 物理サイトを表す、ユーザが作成したグループ。
- system group : 変更または削除できない事前定義済みグループ
- automatic group : Data Aggregator 以外のデータソースのアイテムに基づいて事前定義されたグループ。変更や削除はできません。

bHourID

（オプション）このサイトグループと関連付ける必要がある、内部的に割り当てられた営業時間定義の識別子。

timeZone

（オプション）このサイトグループと関連付けるタイムゾーン。タイムゾーンを関連付けることができるのはサイトグループのみで、カスタムグループとは関連付けられません。

グループルール

グループルールは正規表現に加えて、多重比較をサポートします。たとえば、次の XML の構文を使用すると、名前が単語「Cisco」から始まるデバイスを追加するグループルールをポストします。

```
<Match>
  <Compare readOnly="true" using="MEMBER_OF">
    <Property name="ItemID" type="device"/>
    <Value reference="/All Groups">1</Value>
  </Compare>
  <Compare readOnly="false" using="STARTS_WITH">
    <Property name="DisplayName" type="device"/>
    <Value>Cisco*</Value>
  </Compare>
</Match>
```

AllowDeletes

グループ削除は、[allowDeletes] パラメータを [true] に設定する必要があります。サブグループを削除する場合、コンテナグループにこのパラメータを適用します。たとえば、この XML は、以下のサブグループを削除します： All Groups¥Texas¥Austin:

```
<GroupTree path="/All Groups/Texas">
  Group name="USA" desc="Group to represent the entire
  United States" allowDeletes="true" type="custom group"/>
</GroupTree>
```

グループパス構文については、スラッシュ文字は、ポストする XML ドキュメントに適切です。この例では、「/All Groups/Texas/Austin」というグループ構造をすでに持っているとは仮定します。

```
<GroupTree inheritDefault="true" path="/All Groups/Texas/Austin">
  <Group desc="" inherit="true" location="" name="CA Office"
  type="custom group">
    <Group desc="" inherit="true" location="" name="Austin Lab"
  type="custom group"/>
  </Group>
  <Group desc="" inherit="true" location="" name="Austin Data
  Center" type="custom group"/>
</GroupTree>
```

ただし、Web サービス リクエスト用の URL で、円記号文字をグループパスに使用します。スラッシュは、ブラウザによって誤って解釈されます。

サイトグループ管理用構文

グループツリーの最上位レベルのグループの下にあるすべてのグループのリスト（デフォルトでは [All Groups]）を取得するには、`groupPath` パラメータまたは `groupItemId` パラメータが使用できます。

`groupPath` パラメータを使ってデフォルトグループを識別し、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP
Address:8181/pc/center/webservice/groups/
groupPath/All%20Groups
```

注: いくつかの REST クライアントを使用する場合、「All%20Groups」ではなく、「All Groups」構文が必要です。しかし、一般的に、ブランクのスペースは URL 内で有効ではありません。

サイトグループの識別子 (`siteId`) を取得するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP
Address:8181/pc/center/webservice/
groups/groupItemId/siteId
```

返される XML で、サイト ID は次のように表示されます。

```
<GroupTree siteId="118" inheritDefault="true" path="Austin, TX">
```

指定したグループの下すべてのサブグループのリストを取得するには、次の 2 つのオプションがあります。

- `groupPath` パラメータを使用する。
- `groupItemId` パラメータを使用する。

`groupPath` パラメータを使ってグループを特定し、次のコールを発行すると、返された XML にそのサブグループが一覧表示されます。

```
http://CA Performance Center Server IP
address:8181/pc/center/webservice/
groups/groupPath/All%20Groups%5CInventory
```

groupId パラメータを使ってグループを特定し、次のコールを発行すると、返された XML にそのサブグループが一覧表示されます。

注: デフォルトの「Inventory」グループの groupId は 5 です。

```
http://CA Performance Center Server IP
address:8181/pc/center/webservice/
groups/groupId/5
```

返される XML には、そのグループに適用されるあらゆるグループ ルールの構文が含まれます。そのため、ユーザ インターフェイスで作成するさまざまなルールをテストし、生成された構文を調べることをお勧めします。

サイトグループおよびルール

グループルールは正規表現に加えて、多重比較をサポートします。たとえば、次の XML の構文を使用すると、名前が単語「Cisco」から始まるデバイスを追加するグループルールをポストします。

```
<Match>
  <Compare readOnly="true" using="MEMBER_OF">
    <Property name="ItemID" type="device"/>
    <Value reference="/All Groups">1</Value>
  </Compare>
  <Compare readOnly="false" using="STARTS_WITH">
    <Property name="DisplayName" type="device"/>
    <Value>Cisco*</Value>
  </Compare>
</Match>
```

グループパス構文については、スラッシュ文字は、ポストする XML ドキュメントに適切です。この例では、「/All Groups/Texas/Austin」というグループ構造をすでに持っているとは仮定します。

```
<GroupTree inheritDefault="true" path="/All Groups/Texas/Austin">
  <Group desc="" inherit="true" location="" name="CA
Officetype="custom group">
  <Group desc="" inherit="true" location="" name="Austin Lab"
type="custom group"/>
  </Group>
  <Group desc="" inherit="true" location="" name="Austin Data
Center" type="custom group"/>
</GroupTree>
```

ただし、Web サービス リクエスト用の URL で、円記号文字をグループパスに使用します。スラッシュは、ブラウザによって誤って解釈されます。

役割 Web サービス

この API は、現在のユーザ アカウント役割の一覧の取得、カスタム役割の作成、それらの役割の変更を可能にする役割 Web サービスを提供します。

役割は、製品機能およびダッシュボード ページへのユーザ アクセスを制御するユーザ アカウントに割り当てられたパラメータです。ユーザのジョブ機能に基づき、役割では、*役割の権限*を使用して製品設定への管理アクセス権を付与します。役割によって、ユーザは役職を実行するのに必要なデータおよび製品機能にアクセスできるようになり、必要としない機能へのアクセスは制限されます。ユーザ アカウントにカスタムまたは工場出荷時設定の役割を割り当てるには、[ユーザ RESTful Web サービス \(P. 46\)](#)を使用します。

基本的な役割パラメータ

以下のユーザ アカウント役割の現在値は GET コマンドから使用可能です。

accessRights

この役割に割り当てられている役割権限です。割り当てに使用できる役割権限は複数ありますが、一部の役割権限はデータ ソースに固有です。使用可能なすべての役割権限のリストを取得するには、**categoryId**が必要です。値 1 を持つ **categoryId** は CA Performance Center および Data Aggregator の両方に対応します。

詳細については、「[役割 Web サービスの構文例 \(P. 42\)](#)」を参照してください。

culture

言語（ロケール）を指定します。以下のリストからの言語識別子を提供します。

- en - US（英語、米国）
- ja - JP（日本語）
- zh-CN（中国語（簡体字））
- fr-FR（フランス語、フランス）

description

（オプション）理解を促すための役割に関する説明です。

enabled

役割が使用できる (アクティブになっている) かどうかを決定します。有効な値は `true` または `false` です。

name

役割の名前です。名前は 50 文字までに制限されています。

selections

カテゴリに整理されており、この役割に選択的に付与できるアクセス権限のセットを提供します。

userCount

この役割がユーザ アカウントに割り当てられているユーザの数です。

userID

役割に対して内部的に割り当てられた値です。

役割 Web サービスの構文例

役割 Web サービスで使用可能な操作およびパラメータを確認するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
Address:8181/pc/center/rest/roles/documentation
```

詳細については、「[基本的な役割パラメータ \(P. 41\)](#)」を参照してください。

使用可能な GET メソッド

get access rights

指定された役割に割り当てられている役割権限のリストを取得します。以下の構文を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
center/webservice/roles/idName/idValue/rights/cultureId
```

get access rights by category

指定されたカテゴリで使用可能なすべての役割権限のリストを取得します。カテゴリは CA Performance Center またはデータ ソースのいずれかです。1 の `categoryId` は CA Performance Center および Data Aggregator の両方に適用されます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
center/webservice/roles/rights/categoryid/cultureId
```

get category

categoryId が含まれる XML ドキュメントを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/roles/rights/categories/en-US
```

get by tenant

ログインユーザのテナントと関連付けられているすべての役割のリストを取得します。以下の構文を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
center/webservice/roles/idName/idValue/rights/tenant/tenantIdNa  
me/tenantIdValue/cultureId
```

get categoryId

使用可能なカテゴリ ID を表示する XML を取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
center/webservice/roles/rights/categories/cultureId
```

値 1 は CA Performance Center および Data Aggregator に対応します。このカテゴリのみに含まれる役割権限は Data Aggregator データ ソースに適用されます。

get id names

識別子のリストを取得します。他の Web サービス メソッドでこれを使用して役割を識別できます。以下の構文を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
center/webservice/roles/idNames
```

使用可能な PUT メソッド

copy

役割をコピーします。このメソッドは、指定された役割のコピーを作成し、ログインユーザのテナントに関連付けます。以下の構文を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/roles/idName/idValue/copy/roleName/description/enabled/cultureId
```

詳細については、「[基本的な役割パラメータ \(P. 41\)](#)」を参照してください。

update

指定された役割を変更します。役割名およびテナント ID は、役割パラメータの必須エレメントです。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/roles/idName/idValue/cultureId
```

使用可能な POST メソッド

create

役割を作成します。新しい役割はログインユーザのテナントに関連付けられます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/roles/
```

詳細については、「[役割の作成 \(P. 45\)](#)」を参照してください。

create for tenant

役割を作成し、指定されたテナントにそれを割り当てます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/roles/tenant/tenantIdName/tenantIdValue
```

詳細については、「[テナント Web サービスのパラメータ \(P. 55\)](#)」を参照してください。

役割の作成

ユーザアカウントの役割を作成するには、役割 Web サービスを使用します。

役割 Web サービスのパラメータを確認するには、次のコールを発行します。

```
CA Performance Center Server IP Address:8181/pc
/center/webservice/roles
```

次の手順に従ってください:

1. REST クライアント内に CA Performance Center RESTful Web サービス API 用の URL を入力します。以下の形式を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc
/center/webservice/roles
```
2. 「HTTP」メソッドに POST を選択します。
3. CA Performance Center へのグローバル管理者アクセス権を持つユーザアカウント用の有効なユーザ名およびパスワードを指定します。
4. Body 設定内の「Body Content-type」として「application/xml」を選択します。
5. 以下の例のような XML を [Body] フィールドに貼り付けます。

```
<role>
  <name>TestRoleName</name>
  <description>Test Role Description</description>
  <enabled>>true</enabled>
  <accessRights>
    <accessRight>
      <accessRightName>ViewToS</accessRightName>
      <categoryId>1</categoryId>
      <enabled>>true</enabled>
    </accessRight>
  </accessRights>
</role>
```

accessRights

役割権限に対応します。

accessRightName

役割権限の名前です。たとえば、`administerGroups` 役割権限をユーザに付与すると、そのユーザはグループツリーのセクションの一部を管理できるようになります。

categoryId

CA Performance Center 役割権限やデータ ソース固有の役割権限など、役割権限のカテゴリを識別します。

これらのパラメータの詳細については、「[基本的な役割パラメータ \(P. 41\)](#)」を参照してください。

6. メソッドを実行します。

ユーザ Web サービス

現在のユーザアカウントのリストの取得、新しいユーザアカウントの作成、ユーザアカウントの変更、ユーザアカウントの削除を可能にするユーザ Web サービスを提供する API です。以下のトピックでは、関連するパラメータについて説明します。

- [基本ユーザアカウントパラメータ \(P. 46\)](#)
- [ユーザアカウント製品権限の設定 \(P. 48\)](#)
- [基本的な役割パラメータ \(P. 41\)](#)

また、テナント Web サービスおよびユーザ Web サービスの使用に役立つユースケースドキュメントについては、CA Performance Center ドキュメントのマニュアル選択メニューを参照してください。

基本ユーザアカウントパラメータ

以下のユーザアカウント設定の現在値は GET 操作で取得できます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/users/cultureId.
```

注: この URL は、このコマンドを実行するために使用されるアカウントと同じテナントに関連付けられたユーザに関する情報を返します。

cultureId には、出力を表示する言語の言語コード（「en-US」など）を指定します。構文については、「[基本ユーザアカウントパラメータ \(P. 46\)](#)」を参照してください。

userId

ユーザアカウントに対して内部的に割り当てられた値です。

name

ユーザアカウントのログイン名です。名前は 50 文字までに制限されています。

description

(オプション) 理解を促すためのユーザアカウントに関する説明です。

enabled

ユーザアカウントが使用可能か (アクティブか) どうかを決定します。

Removable

項目が削除できるかどうか (データベースから削除) を指定します。

値: true または false。

注: 2つの事前定義のユーザアカウント (**admin** と **user**) は削除できません。

timezone(tz)

レポートデータに表示されるタイムゾーンと一致します。

デフォルト: UTC (協定世界時)。

userLevel

このユーザアカウントに割り当てられた製品権限を識別します。詳細については、「[ユーザアカウント製品権限の設定 \(P. 48\)](#)」を参照してください。

role

ユーザアカウントに割り当てられた役割を指定します。

tenantId

ユーザアカウントが関連付けられているテナント用の内部 (データベース) 識別子です。

culture

言語（ロケール）を指定します。以下のリストからの言語識別子を提供します。

- en-US（英語、米国）
- ja-JP（日本語）
- zh-CN（中国語（簡体字））
- fr-FR（フランス語、フランス）

注: GET メソッドはパスワード情報を返しません。新規ユーザアカウントの作成時、パスワードはユーザ名と同じになるように自動的に設定されます。

個別の PUT メソッドを使用すると、指定されたユーザアカウントのパスワードを更新できます。Web サービスが使用する暗号キーが公表されないように、パスワードはクリアテキストで送信されます。その結果、パスワードの変更方法は、パスワードの機密性を守るため、CA Performance Center がインストールされているサーバでだけ使われる必要があります。

ユーザ アカウント製品権限の設定

指定されたユーザアカウントの製品権限を確認するには、CA Performance Center ユーザ インターフェースを使用します。製品権限は、ユーザアカウントに関連付けられた権限セットの一種です。製品権限は、選択したデータソースの機能にユーザがアクセスすることを許可し、CA Performance Center の機能には適用されません。

ユーザアカウントには、以下のいずれかの製品権限割り当てがあります。

NONE

このユーザには指定されたデータソースへのアクセス権がないことを示します。

ADMINISTRATOR

このユーザは、示されたデータソースに対して管理者製品権限があり、管理タスクを実行できることを示します。

POWER_USER

このユーザは、示されたデータ ソースに対してパワー ユーザ製品権限があり、ユーザ アカウントとダッシュボードに関連付けられた一部の管理タスクを実行できることを示します。

USER

このユーザは、示されたデータ ソースに対してユーザ製品権限があり、管理機能にはアクセス権がないことを示します。

ユーザ Web サービスの構文例

ユーザ Web サービスのパラメータおよび使用可能な操作を確認するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
Address:8181/pc/center/rest/users/documentation
```

使用可能な GET メソッド**get groups owned by user**

指定されたユーザのグループのリストを取得します。返されるグループは、指定されたユーザが所有するグループです。つまり、このユーザはこれらのグループを変更または削除できます。

```
http://CA Performance Center server IP address:8181/pc/  
center/webservice/users/idName/idValue/groupsOwnedByUser
```

get groups

指定されたユーザがビュー アクセス権限を持つグループのリストを取得します。返されるグループは、指定されたユーザの権限セット内にあるグループです。ユーザはこれらのグループを変更または削除できません。

```
http://CA Performance Center server IP address:8181/pc/center/webservice/users/idName/idValue/groups
```

get id names

識別子のリストを取得します。他の Web サービス メソッドでこれを使用してユーザを識別できます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/users/idNames
```

idValue

識別するカテゴリの値です。たとえば、*idName* が *userID* である場合は、ユーザ ID を指定します。*idName* が *userName* である場合は、ユーザ名を指定します。

get authentication types

ユーザに認証タイプを割り当てるために使用できる識別子のリストを返します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/users/authenticationTypes
```

使用可能な PUT メソッド

update role

指定されたユーザ アカウントの役割割り当てを更新します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/users/idName/idValue/role/roleIdName/roleIdValue
```

update time zone

指定されたユーザ アカウントのタイムゾーンを更新します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/users/idName/idValue/timeZone/newTimeZone
```

set groups

指定されたユーザ アカウントに付与されている権限グループを更新します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/users/idName/idValue/groups
```

set administered groups

指定されたユーザ アカウントのグループを更新します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/users/idName/idValue/administeredGroup
```

ユーザ アカウントに管理対象グループを追加するには、(たとえば)以下の形式の XML を指定します。

```
<groups>  
  <group ID="5245"/>  
  <group ID="5246"/>  
  <group ID="5247"/>  
  ...  
</groups>
```

update product privilege per datasource

指定されたユーザ アカウントの製品権限を更新し、特定のデータソースのユーザ インターフェースへのアクセスを有効にします。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/users/idName/idValue/ds/dsId/  
productPrivilege/newProductPrivilege
```

dsId

データソース識別子です。使用可能なデータソース識別子のリストについては、「[基本的なデータソースパラメータ \(P. 20\)](#)」を参照してください。

製品権限の詳細については、「[ユーザアカウント製品権限の設定 \(P. 48\)](#)」を参照してください。

使用可能な POST メソッド

create

新しいユーザアカウントを作成します。新しいユーザはログインユーザのテナントと関連付けられます。パラメータには役割割り当てが含まれます。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/users/role/roleIdName/roleIdValue
```

詳細については、「[ユーザアカウントの作成 \(P. 52\)](#)」を参照してください。

create in tenant

指定された役割割り当てを使用して、指定されたテナントに新しいユーザアカウントを作成します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/users/tenant/tenantIdName/tenantIdValue  
/role/roleIdName/roleIdValue
```

ユーザアカウントの作成

ユーザ Web サービスを使用して、カスタムユーザアカウントを作成します。

すべてのユーザアカウントは、自動的にテナントに関連付けられます。マルチテナントを展開している場合、新規ユーザは、REST サービスコールの作成に使用された認証済みユーザアカウントのテナントに割り当てられます。ユーザがマルチテナントを展開していない場合、この関連付けは透過的に行われます。つまり、新規ユーザアカウントはデフォルトテナントに関連付けられます。

次の手順に従ってください:

1. CA Performance Center サーバへの接続がある REST クライアントをセットアップします。
2. REST クライアント内に CA Performance Center RESTful Web サービス API 用の URL を入力します。以下の形式を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/users/role/roleIdName/roleIdValue/
```

roleIdName には、`http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/webservice/roles/idNames` で指定されている値を使用します。

例は「*roleName*」および「*roleId*」です。

roleIdValue の値は、ユーザが選択した *roleIdName* に依存します。たとえば「*roleName*」を使用する場合は、*roleIdValue* を有効な役割名に置き換えます。

この役割はテナント内に利用できる必要があります。

3. 「HTTP」メソッドに POST を選択します。
4. CA Performance Center に対してホストまたはテナント管理者アクセス権があるユーザアカウント用の有効なユーザ名およびパスワードを提供します。
5. Body 設定内の「Body Content-type」として「application/xml」を選択します。
6. [Body] テキストセクション内に、以下のパラメータを追加します。

```
<user>
  <name>{UserName}</name>
  <description>{UserDescription}</description>
  <enabled>{UserEnabled}</enabled>
  <removable>{UserRemovable}</removable>
  <timezone>{UserTimeZone}</timezone>
  <culture>{UserCulture}</culture>
</user>
```

7. 任意の値を新しいテナントに対して使用する値に置換します。
たとえば、以下のパラメータを提供します。

```
<user>
  <name>Jane Doe</name>
  <description>John Doe 社テナントに関連付けられているユーザ</description>
  <enabled>true</enabled>
  <removable>true</removable>
  <timezone>CST6CDT</timezone>
  <culture>en-US</culture>
</user>
```

ユーザパラメータの詳細については、「[基本ユーザアカウントパラメータ \(P. 46\)](#)」を参照してください。

8. メソッドを実行します。
9. 必要な数のユーザを作成するまで、前述の手順を繰り返します。

テナント Web サービス

この API は、現在のテナント定義の一覧の取得、新しいテナント定義の作成、それらの定義の変更を可能にするテナント Web サービスを提供します。

基本的なテナント定義には、テナントを識別するためのいくつかのパラメータが含まれます。カスタマの監視対象システムのすべてのインフラストラクチャ（デバイス、ネットワーク、サーバ）とすべての監視パラメータをテナント定義と関連付ける必要があります。各テナントには少なくとも 1 つの IP ドメインと、関連企業のインフラストラクチャとアプリケーションの管理に必要な数だけの以下の定義が含まれている必要があります。

- ユーザアカウント
- 役割
- カスタム グループとシステム グループ
- カスタム レポート
- カスタム メニュー

定義と監視パラメータを既存のテナント定義と関連付けるには、テナント管理者としてログインし、必要な Web サービスを使用し、必要な定義を作成します。その後、定義はテナント定義と関連付けられ、このテナントのユーザアカウントでログインしたユーザが利用できます。

テナント Web サービスおよびユーザ Web サービスの使用に役立つユースケース ドキュメントについては、**CA Performance Center** ドキュメントのマニュアル選択メニューを参照してください。

テナント Web サービスのパラメータ

テナント Web サービスで使用可能なパラメータおよび操作を確認するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center/rest/tenants/documentation
```

パラメータ

tenantDescription

(オプション) テナントに関する説明です。

idName

テナントの名前です。

status

このテナントのステータスです。以下の値のいずれかを選択します。

- 有効：使用するテナント ユーザアカウントを有効にします。
- 無効：このテナントに関連付けられたユーザアカウントによるすべてのアクションを禁止します。

Removable

項目が削除できるかどうか（データベースから削除）を指定します。

値： true または false。

theme

このテナントに使用する形式（ブラウザ ウィンドウ内のページの外観を制御するテーマ）を指定します。このテナントに関連付けられているユーザアカウントを持つすべてのオペレータにこのテーマが表示されます。CA-Blue および CA-Gray の 2 つのテーマが利用可能です。

デフォルト： CA-Blue。

defaultCulture

言語（ロケール）を指定します。以下のリストからの言語識別子を提供します。

- en - US（英語、米国）
- ja - JP（日本語）
- zh-CN（中国語（簡体字））
- fr-FR（フランス語、フランス）

accountId

このテナントを識別します。通常は、MSP アカウント番号と一致します。値が入力として提供される場合、この値はすべての定義済みテナントで一貫である必要があります。

TenantID

テナント定義用の内部（データベース）識別子です。

テナント Web サービスの構文例

テナント Web サービスを使用すると、現在のテナント定義のリストの取得、新しいテナント定義の作成、およびパラメータの変更によるテナント定義の変更ができます。

テナント Web サービスの使用に役立つユース ケース ドキュメントについては、CA Performance Center ドキュメントのマニュアル選択メニューを参照してください。

操作

テナント Web サービスでは、以下の基本操作がサポートされています。

GET

名前別に並べ替えられたテナント定義の一覧を返します。/tenantID エンドポイントで利用できます。以下の構文を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/tenants/
```

POST

カスタム テナントを作成します。以下の構文を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/tenants/
```

詳細については、「[テナントの作成](#) (P. 57)」を参照してください。

PUT

既存のテナント定義を更新します。以下の構文を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/tenants/
```

テナントの作成

テナント Web サービスを使用して、テナントの作成および設定を行うために、任意の REST クライアントを使用します。

次の手順に従ってください:

1. CA Performance Center サーバへの接続がある REST クライアントをセットアップします。
2. REST クライアント内に CA Performance Center RESTful Web サービス API 用の URL を入力します。以下の形式を使用します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/tenants/
```
3. 「HTTP」メソッドに POST を選択します。
4. CA Performance Center へのグローバル管理者アクセス権を持つユーザーアカウント用の有効なユーザ名およびパスワードを指定します。

5. Body 設定内の「Body Content-type」として「application/xml」を選択します。
6. [Body] テキスト セクション内に、以下の XML を追加します。

```
<tenant>
  <tenantName>テナント名</tenantName>
  <tenantDesc>テナントの説明</tenantDesc>
  <accountIdentifier>このテナント用の一意の文字列
</accountIdentifier>
  <status>{activated または disabled}</status>
  <removable>{true または false}</removable>
  <theme>{CA-Blue または CA-Gray}</theme>
  <defaultCulture>culture</defaultCulture>
</tenant>
```

7. 任意の値を新しいテナントに対して使用する値に置換します。
たとえば、以下のパラメータを提供します。

```
<tenant>
  <tenantName>John Doe</tenantName>
  <tenantDesc>John Doe 社テナント</tenantDesc>
  <accountIdentifier>JD1234</accountIdentifier>
  <status>Enabled</status>
  <removable>>false</removable>
  <theme>CA-Blue</theme>
  <defaultCulture>en-US</defaultCulture>
</tenant>
```

テナント パラメータの詳細については、「[テナント サービスの構文例 \(P. 55\)](#)」を参照してください。

8. メソッドを実行します。
9. 必要な数のテナントを作成するまで、前述の手順を繰り返します。

第 3 章: サポート Web サービス

この API は、管理 Web サービスにサポート情報を提供する Web サービスも提供します。設定アイテムのリストまたは識別データを取得するには、これらの Web サービスを使用します。

Consoleinfo Web サービス

この API は、CA Performance Center コンソール設定に関する情報を取得できる consoleinfo Web サービスを提供します。取得した情報（営業時間定義の作成に必要なタイムゾーン情報など）は、他の Web サービスメソッドに渡すことができます。

Consoleinfo Web サービスの構文例

Consoleinfo Web サービスのパラメータを確認するには、次のコールを発行します。

```
http://CA Performance Center Server IP  
Address:8181/pc/center/rest/consoleinfo/documentation
```

使用可能な GET メソッド

get all time zones

営業時間定義に使用できるすべてのタイムゾーンのリストを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/consoleinfo/allTimezones/cultureID
```

cultureId

言語（ロケール）を指定します。以下のリストからの言語識別子を提供します。

- en - US（英語、米国）
- ja - JP（日本語）
- zh-CN（中国語（簡体字））
- fr-FR（フランス語、フランス）

get installed language packs

サーバにインストールされている言語パックのリストを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/consoleinfo/languagepacks/cultureID
```

get time zones assigned to sites

ログインユーザがアクセス権を持つサイト グループに割り当てられているすべてのタイムゾーンのリストを取得します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
/center/webservice/consoleinfo/timezonesAssignedToSites
```

イベント Web サービス

イベント Web サービスを使用すると、使用している環境で発生したイベントのリストを取得できます。

指定された管理対象アイテムのイベントのリストを表示するには、以下の URL に対して GET を実行します。

```
http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc  
eventId/item/itemId
```

イベント ID

イベントを識別するために、内部で割り当てられた値。

詳細については、「[デバイス Web サービス \(P. 24\)](#)」を参照してください。

詳細情報

CA Performance Center で使用できるすべての Web サービスの詳細なリストは、以下の URL で入手できます。

`http://CA Performance Center Server IP Address:8181/pc/center`

このページから、各 Web サービスの WADL にもアクセスできます。

ほとんどの Web サービスには、使用可能なパラメータおよび操作のリストと説明を含む固有のドキュメントが用意されています。ドキュメントは API 起動ページから HTML 形式でアクセスできます。

`http://CA Performance Center Server IP
Address:8181/pc/center/rest`

ここで、サーバ IP アドレスは CA Performance Center サーバと同じです。

CA Performance Center ドキュメントのマニュアル選択メニューには、タスクベースのユースケースとして、その他のドキュメントが用意されています。関係ドキュメントがあるかどうか、[管理] および [ユースケース] のカテゴリを確認してください。

用語集

REST

REST (Representational State Transfer) は、ワールドワイドウェブ用ソフトウェア、またはクライアント/サーバネットワーク内の HTTP 要件に準拠するその他のアプリケーションを構築する方法です。REST モデルでは、あらかじめ決められた一連の操作を使用してリソースセットにアクセスできます。このモデルでは、広く導入されている HTTP 機能を活用しています。これらの機能はゲートウェイ デバイスなどの一般的なハードウェアでサポートされています。

Single Sign-On

Single Sign-On とは、CA Performance Center がサポートする CA データ ソースによって使用される認証スキームを意味する用語です。Single Sign-On コンポーネントでは、CA Performance Center およびデータ ソース製品でユーザ認証をサポートするログイン ページが提供されます。ユーザが CA Performance Center に認証されると、再びサインインせずに CA Performance Center や登録されているデータ ソース間を移動できます。

SNMP プロファイル

SNMP プロファイルは、SNMP を使用するデバイス MIB の安全なクエリを有効にするために必要な情報が含まれる定義です。

グループ

グループは、管理対象アイテム用のコンテナとして機能するフィルタ定義です。グループは、ツリー構造の管理対象アイテムを論理的に構成することができ、各グループにはサブグループまたは管理対象アイテムを含むことができます。構造はデータ ソースに継承され、データ ソースでは、トップレベルのグループから、さらに狭い関連コンテキストにドリルダウンできます。

サイト グループ

サイト グループは、都市、地域、支社またはキャンパスなど物理的な場所に基づくカスタム グループです。通常、サイト グループには、アイテム、および場所によってグループ化されるアイテムのサブグループが含まれます。サイト グループをツリー構造内の他のカスタム グループに追加することにより、地理的および論理的に整理されたレポートを構築できるようになります。サイト グループを使用して、ダッシュボードビューを営業時間でフィルタリングできます。

製品権限

製品権限は、ユーザアカウントに関連付けられた権限セットの一種です。製品権限は、選択したデータソースの機能にユーザがアクセスすることを許可し、CA Performance Center の機能には適用されません。

ダッシュボード

ダッシュボードは、CA Performance Center ユーザインターフェース内で動的にレポートを作成するページです。これらは、[ダッシュボード] タブからアクセス可能なメニューアイテムとして表示されます。各ダッシュボードは、単一の Web ページ上の登録済みのデータソースからのデータを表示するビューのコレクションです。各ダッシュボードのレイアウト、ビュー、時間間隔、およびグループコンテキストは、カスタマイズできます。

データソース

データソースは、パフォーマンスデータおよび設定データを CA Performance Center に提供するサポート対象製品です。データを監視、収集、集計するデータソース製品は、多くの場合独立して機能します。ただし、CA Performance Center のインスタンスに登録されると、データソースとして認識されます。

テナント

テナントは、管理対象サービスプロバイダが管理するカスタマ環境を表します。各テナント環境は独立しており、CA Performance Center の個別のインスタンスとして有効に機能します。各インスタンスには、テナント間で共有されない複数のユーザおよび役割を含めることができます。

ドメイン

IP ドメインは、さまざまなデバイスおよびネットワークからのデータを識別する論理的なグループです。ドメインによる監視は、IP アドレスと、それに関連する別のカスタマネットワークに属するインターフェースまたはアプリケーションを別々に監視することを意味します。適切な権限と組み合わせることで、IP ドメインは単一のコンソールから監視されますが、ユーザには、自身が監視するドメインのデータのみ表示されます。

メニュー

メニューとは、ダッシュボードをコンテンツによって構成するために使用する [ダッシュボード] タブのセグメントです。デフォルトでは、管理者とデザイナーがメニューをカスタマイズし、それらをユーザアカウント役割に割り当てることができます。

役割

役割は、製品機能およびダッシュボードページへのユーザアクセスを制御するユーザアカウントに割り当てられたパラメータです。ユーザのジョブ機能に基づき、役割では、*役割の権限*を使用して製品設定への管理アクセス権を付与します。役割によって、ユーザは役職を実行するのに必要なデータおよび製品機能にアクセスできるようになり、必要としない機能へのアクセスは制限されます。